

Ⅲ.2012年度(平成24年度)予算の概要

平成24年度予算について、その概要を報告いたします。なお、金額は千円未満を四捨五入して示しています。

〔1〕資金収支計算

資金収支計算について、その主な内容を報告いたします。

資金収支総括表

(収入の部)		(単位：千円)		
科 目	24年度予算	23年度予算	増 減	
学生生徒等納付金収入	4,522,979	4,619,298	△ 96,319	
手数料収入	59,520	56,808	2,712	
寄付金収入	87,150	100,027	△ 12,877	
補助金収入	1,098,824	1,026,348	72,476	
資産運用収入	33,516	40,447	△ 6,931	
資産売却収入	756,000	945,000	△ 189,000	
事業収入	219,998	212,188	7,810	
雑収入	49,791	168,170	△ 118,379	
借入金等収入	107,400	102,600	4,800	
前受金収入	503,782	503,305	477	
その他の収入	1,738,463	1,808,622	△ 70,159	
資金収入調整勘定	△ 551,120	△ 690,947	139,827	
当年度資金収入合計	8,626,303	8,891,866	△ 265,563	
前年度繰越支払資金	2,645,001	2,813,604	△ 168,603	
収入の部合計	11,271,304	11,705,470	△ 434,166	

(支出の部)		(単位：千円)		
科 目	24年度予算	23年度予算	増 減	
人件費支出	3,944,277	4,137,955	△ 193,678	
(教・職員人件費、役員報酬)	3,865,966	3,826,555	39,411	
(退職金支出)	78,311	311,400	△ 233,089	
教育研究経費支出	962,324	908,775	53,549	
管理経費支出	364,058	392,389	△ 28,331	
借入金等利息支出	19,953	24,299	△ 4,346	
借入金等返済支出	270,020	301,590	△ 31,570	
施設関係支出	185,275	20,960	164,315	
設備関係支出	81,450	116,647	△ 35,197	
資産運用支出	2,367,005	2,949,902	△ 582,897	
その他の支出	330,210	481,834	△ 151,624	
[予備費]	100,000	50,000	50,000	
資金支出調整勘定	△ 84,311	△ 323,881	239,570	
当年度資金支出合計	8,540,261	9,060,470	△ 520,209	
次年度繰越支払資金	2,731,043	2,645,001	86,042	
支出の部合計	11,271,304	11,705,471	△ 434,167	

当年度資金収支差額	86,042	△ 168,603	254,645
-----------	--------	-----------	---------

住吉中高及び泉ヶ丘中高は、入学者数が増加したことにより8,780万円の増額を見込みますが、大学において入学者数および在籍予定者数が減少したため学費の減少を9,452万円見込みました。また、住吉、泉ヶ丘両高校及び幼稚園に対する授業料支援補助金や就園奨励費補助金2億1,884万円は、納付金でなく補助金収入に計上しております。

国庫経常費補助金については23年度算定基準により積算計上した予想額に対し10%減額計上しています。大阪府独自の私立高校実質無償化政策が23年度からより拡充されたことに伴い、府の授業料支援補助金が、8,035万円増額となります。

その他の固定資産の中の各種引当特定資産組み入れ債券の年度内償還額のみを計上しています。

24年度は、定年退職者5名の退職金財団からの交付金(4781万円)を計上しています。(23年度は、退職者11名、1億6,145万円を計上)

各種引当特定資産の債券や定期預金満期による繰入収入及び前期末未収入金(23年度退職者の退職金財団からの交付金)を計上しています。また今年度支出予定の創立100周年記念事業特別会計の2億1,600万円を創立100周年引当特定資産より学校会計へ繰り入れる。

24年度定年退職者分の退職金財団よりの交付金(期末未収入金)及び23年度前受金(前期末前受金)を計上しています。

今年度人事計画に基づく教職員の採用、退職、昇給等を勘案し、本俸、期末・勤勉手当を積算計上し、退職金については定年退職者の退職金を計上しています。

今年度法人全体の経常的な経費予算規模(施設・設備支出含む)は、22年度予算比5%削減を継続し、抑制的ではあるが費用対効果を考え、教育研究水準や学生生徒支援の充実に限られた財源の有効配分を行いました。また昨年同様法人戦略予算を、入試・広報、教育の充実、施設の充実の3つの分野に分け、予算の一層の選択と集中を行っています。また、住吉高校及び泉ヶ丘高校において府の授業料支援補助金制度に伴う法人の負担額(標準授業料58・55万円との差額)を奨学費支出として4,135万円計上しています。

創立100周年記念事業特別会計の「施設の充実」にあたる帝塚山学院同窓生顕彰記念ホールの建築及び泉ヶ丘中学校舎増築工事を計上する。

各種引当特定資産の債券満期による繰入れ及び創立100周年引当特定資産へ1億円、また減価償却引当特定資産へ5千万円、退職給与引当特定資産へ1億円を繰り入れます。

(注) 上記の表の金額は千円未満を四捨五入しているため、合計及び増減の数値が計算上一致しない場合があります。以下の表についても同様です。